

2005年度第1四半期 決算公表参考資料

2005年7月29日

三菱商事株式会社

(億円)	2005年度 第1四半期	2004年度 第1四半期	増減	増加率	2005年度 通期見通し	達成率
売上高	43,288	40,283	3,005	7%	175,000	25%
総利益	2,306	1,946	360	18%	10,000	23%
営業利益	664	362	302	83%	3,000	22%
連結純利益	775	428	347	81%	2,800	28%
基礎収益	1,097	652	445	68%	4,300	26%

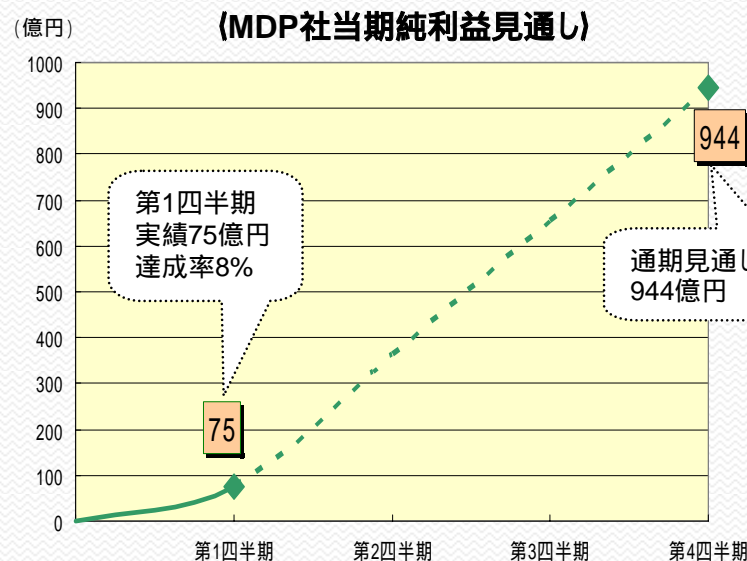
**過去のトラックレコード
(四半期単位)**

四半期決算を開始した2000年度
第3四半期以降が比較対象

- 売上高**・・・過去3番目の水準
(過去最高は2004年度第4四半期4.6兆円)
- 売上総利益**・・・過去2番目の水準
(過去最高は2004年度第4四半期 2,361億円)
- 営業利益**・・・過去最高益
(従来最高益は2004年度第2四半期 619億円)
- 連結純利益**・・・過去最高益
(従来最高益は2004年度第4四半期 598億円)
- 基礎収益**・・・過去最高益
(従来最高益は2004年度第2四半期 1,013億円)

MDP社の状況

- MDP社は1～12月決算のため、2005年4月以降の販売価格上昇による業績へのインパクトは第2四半期から生じる。
このため、当第1四半期の実績は75億円と、通期見通し944億円に対する達成率は8%に留まっている。



連結純利益の通期見通し達成状況

(億円)	2005年度 第1四半期	2005年度 通期見通し	達成率
MDP社以外	700	1,856	38%
MDP社	75	944	8%
合計	775	2,800	28%

MDP社を除いた通期見通しに対する達成率は38%と好調な滑り出し

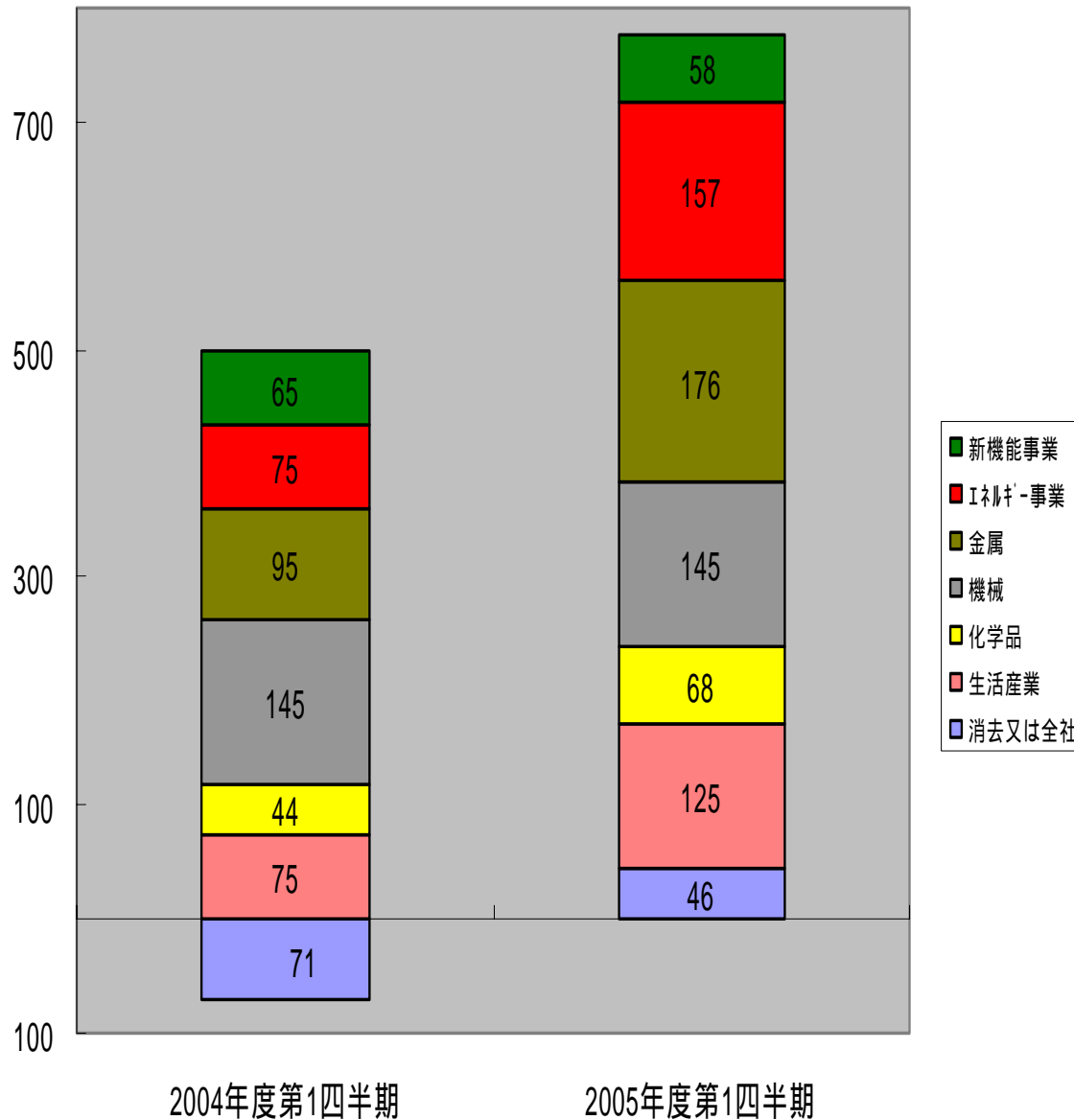
商品市況・為替の状況

	第1四半期の状況 (4-6月平均)	通期見通しの前提	増減	連結純利益に対する損益インパクト
為替(YEN/\$)	107.7	100	7.7	1円円安につき年間12億円の増益インパクト
油価(ﾄﾞﾙ)ｲ (\$/BBL)	47.9	36.0	11.9	1\$上昇につき年間10億円の増益インパクト
銅地金(\$/MT)	3,388	2,756	632	100\$上昇につき年間4.5億円の増益インパクト
アルミ地金(\$/MT)	1,790	1,800	-10	100\$上昇につき年間10億円の増益インパクト

商品市況・為替は通期見通しの前提を上回る水準か同水準で推移している。

セグメント別連結純利益の前年同期比増減

(億円)



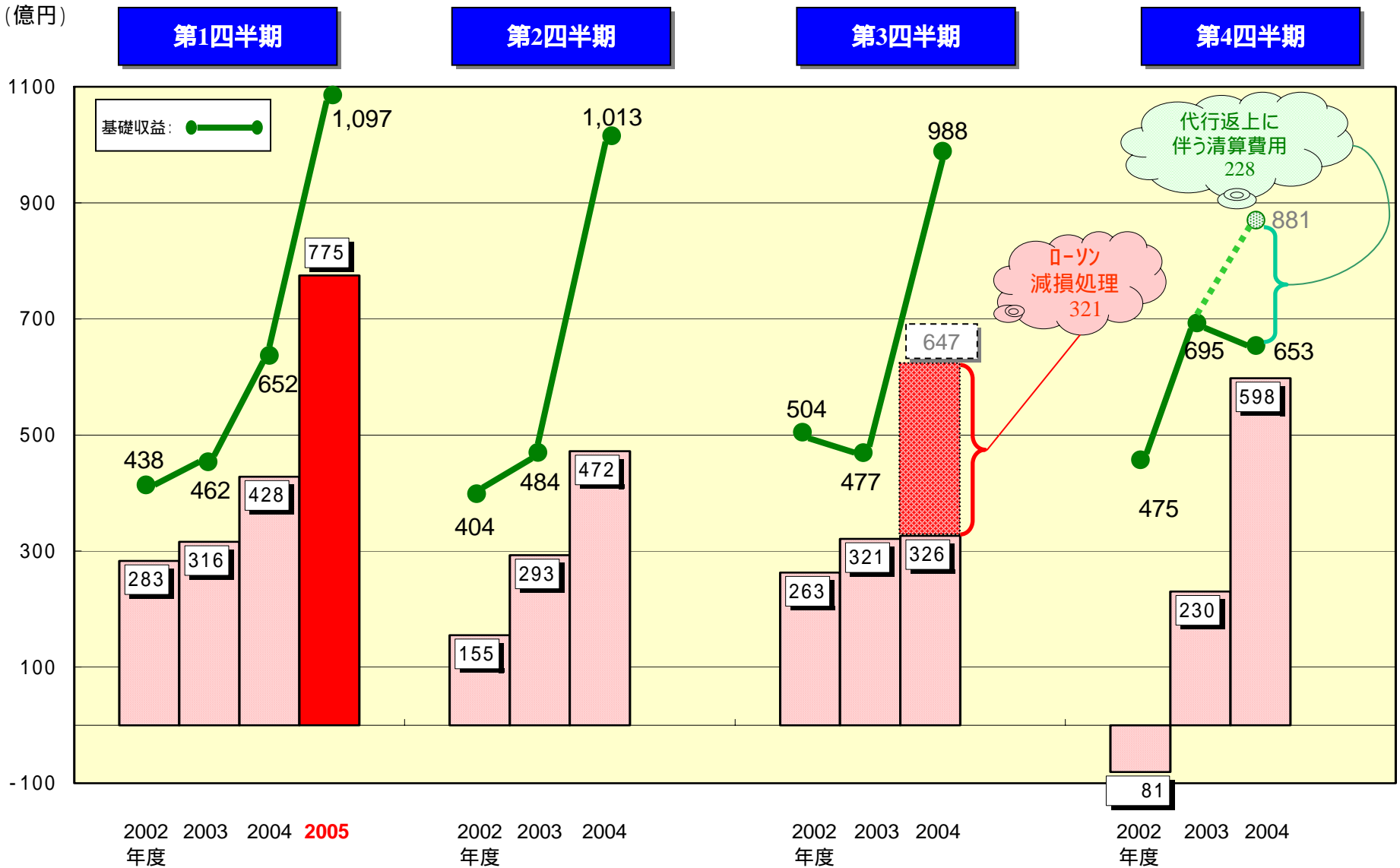
セグメント別増減理由

(増益)
 エネルギー事業・・・石油関連取引の好調とエネルギー資源関連会社の持分利益増加
 金属・・・金属資源関連子会社及びメタルワンの持分利益の増加
 化学品・・・石油化学品関連会社の持分利益増加
 生活産業・・・ローソン移管の影響と食品関連子会社の業績堅調

(横ばい)
 新機能事業・・・金融子会社などの持分利益の増加があったものの、前年同期に計上した株式売却益の反動減で相殺
 機械・・・船舶市況が好調に推移したものの、前年同期に国内子会社で計上した年金代行返上益の反動により横ばい。

資源価格の推移

	2005年度第1四半期	2004年度第1四半期	増減	2005年度通期見通しの前提となる市況価格
油価(ドル/1) (\$/BBL)	47.9	33.3	14.6	36.0
銅地金 (\$/MT)	3,388	2,705	683	2,756
アルミ地金 (\$/MT)	1,790	1,677	113	1,800
原料炭(前年度価格) (\$/MT)	56.5	46.5	10.0	第1四半期 56.5 第2四半期以降 125.0



* 以下の事項により、既に公表した過去の数字をリステートしています。

2004年度における株式の追加取得により新たに持分法適用対象となった関連会社について、過年度に遡及して持分法を適用「関連会社に対する投資」にかかる税効果を「法人税等」に含めて表示

